

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月10日
東

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所
 コード番号 2981 URL <https://landix.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門管掌 (氏名) 松村 隆平 (TEL) 03-6420-3230
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,851	7.7	367	△30.4	351	△31.5	257	△24.0
2023年3月期第1四半期	3,575	37.1	528	△6.2	512	△7.1	338	△5.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 257百万円(△24.0%) 2023年3月期第1四半期 338百万円(△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	91.06	90.24
2023年3月期第1四半期	119.83	119.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,809	6,608	47.9
2023年3月期	13,896	6,542	47.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,608百万円 2023年3月期 6,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	68.00	68.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	73.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,000	33.2	2,100	24.8	2,000	24.7	1,300	459.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 様々な不確定要素に起因した販売進捗の変動可能性等に鑑み、通期のみの業績予想の開示としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	2,827,793株	2023年3月期	2,827,793株
2024年3月期1Q	128株	2023年3月期	128株
2024年3月期1Q	2,827,665株	2023年3月期1Q	2,827,687株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、インバウンド需要の回復、春闘の賃上げ率アップ等アフターコロナに向けた経済活動の活性化による回復の兆しがみられました。一方で、ロシア・ウクライナ問題の長期化による世界的な資源価格の高騰、欧米各国の金融引き締めによる金利上昇及び海外経済の減速見通しにより先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループが属する不動産住宅市場におきましては、政府による継続的な政策支援や住宅ローン金利の低位安定等で景気は底堅く推移しました。しかしながら、土地価格や建築資材の高騰、建設労働者不足による解体・建築作業コストの増加、今後の住宅ローン金利水準の動向には、予断を許さない状況が続いております。このような環境の中で、当社では「唯一無二の豊かさを創造する」の経営理念のもと、積極的な若手人材採用と育成により、新規顧客アプローチの数と質を向上させ、一方で既存顧客に対しては長期的なサポート及び丁寧な提案を行っております。これにより、住宅用地の仕入れから販売までの期間を平均4.2ヶ月での短期間成約を維持継続しております。また、全成約外部顧客のうち45.9%が外部ポータルサービスや自社HP等のインターネットサービスをきっかけとした成約、37.8%が当社グループの協力業者・リピート顧客・紹介顧客による成約となり、これらが全体の83.7%を占めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,851,339千円（前年同期比7.7%増）、営業利益は367,470千円（前年同期比30.4%減）、経常利益は351,272千円（前年同期比31.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は257,487千円（前年同期比24.0%減）となりました。売上及び各段階損益は通期業績目標に対して17~20%程度の進捗となっておりますが、これはエリア拡大していく中で、城南エリア以外での販売で想定以上に労力を要しているためです。第2四半期以降につきましては、新卒・若手の育成と即戦力となる経験者の獲得による営業力強化を継続することで通期業績目標の達成を目指します。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① sumuzu事業

sumuzu事業においては、富裕層顧客からの口コミ紹介・リピートの獲得による成約及び住宅用地の仕入れから販売までの短期間成約の維持継続という当社グループの強みを発揮しているものの、メインエリアである城南以外での販売が伸び悩んだこと及び更なる事業成長のための戦略的な人員強化により人件費等のコストが増加したことで前年同期比で利益が減少しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,824,298千円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は445,241千円（前年同期比24.0%減）となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業においては、既存の賃貸用不動産が前連結会計年度より引続き順調に稼働したことで、安定的に収益を確保しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は26,818千円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は13,456千円（前年同期比3.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、87,178千円減少の13,809,547千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、26,488千円減少の10,920,486千円となりました。これは主に現金及び預金が430,116千円減少し、仕入強化により棚卸資産が384,018千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、60,689千円減少の2,889,060千円となりました。これは主に賃貸用不動産を売却したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、152,384千円減少の7,201,442千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、229,835千円減少の5,267,021千円となりました。これは主に販売用不動産仕入に伴う短期借入金の実行により167,900千円及び1年内返済予定への振替えにより88,992千円増加し、未払法人税等が105,342千円及び流動負債のその他に含めている未払金が341,820千円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、77,450千円増加し1,934,421千円となりました。これは主に長期借入金が80,754千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、65,205千円増加の6,608,104千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が257,487千円増加した一方で、利益配当金の支出により利益剰余金が192,281千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました予想から変更はありません。業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,103,151	4,673,035
棚卸資産	5,438,361	5,822,380
その他	405,461	425,071
流動資産合計	10,946,975	10,920,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	975,351	953,909
減価償却累計額	△148,884	△147,506
建物及び構築物(純額)	826,467	806,402
車両運搬具	28,380	28,380
減価償却累計額	△27,230	△27,374
車両運搬具(純額)	1,149	1,005
工具、器具及び備品	57,569	58,866
減価償却累計額	△26,056	△28,278
工具、器具及び備品(純額)	31,512	30,587
土地	1,912,233	1,865,097
有形固定資産合計	2,771,362	2,703,092
無形固定資産		
商標権	1,391	1,351
無形固定資産合計	1,391	1,351
投資その他の資産	176,996	184,616
固定資産合計	2,949,750	2,889,060
資産合計	13,896,725	13,809,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	4,161,190	4,329,090
1年内返済予定の長期借入金	266,062	355,055
未払法人税等	256,453	151,110
賞与引当金	19,046	13,447
株主優待引当金	9,178	3,527
その他	784,926	414,790
流動負債合計	5,496,856	5,267,021
固定負債		
長期借入金	1,817,932	1,898,687
その他	39,037	35,733
固定負債合計	1,856,970	1,934,421
負債合計	7,353,826	7,201,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,554	488,554
資本剰余金	701,422	701,422
利益剰余金	5,353,282	5,418,488
自己株式	△360	△360
株主資本合計	6,542,898	6,608,104
純資産合計	6,542,898	6,608,104
負債純資産合計	13,896,725	13,809,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,575,142	3,851,339
売上原価	2,686,055	3,022,039
売上総利益	889,086	829,300
販売費及び一般管理費	361,050	461,829
営業利益	528,036	367,470
営業外収益		
為替差益	431	486
違約金収入	—	4,952
その他	5	13
営業外収益合計	437	5,452
営業外費用		
支払利息	15,483	21,597
その他	52	52
営業外費用合計	15,535	21,650
経常利益	512,938	351,272
特別利益		
固定資産売却益	—	47,735
保険解約返戻金	7,427	—
特別利益合計	7,427	47,735
税金等調整前四半期純利益	520,365	399,007
法人税等	181,537	141,520
四半期純利益	338,827	257,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	338,827	257,487

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	338,827	257,487
四半期包括利益	338,827	257,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,827	257,487
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,549,168	25,710	3,574,879	262	3,575,142	—	3,575,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,549,168	25,710	3,574,879	262	3,575,142	—	3,575,142
セグメント利益	586,149	12,950	599,100	262	599,362	△71,326	528,036

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去545千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,871千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,824,298	26,818	3,851,116	223	3,851,339	—	3,851,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,824,298	26,818	3,851,116	223	3,851,339	—	3,851,339
セグメント利益	445,241	13,456	458,697	223	458,921	△91,451	367,470

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△91,451千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。